

系	統	アクリロイル変性アクリル樹脂系ライニング材
特	長	1) 卓越した耐酸性を有する。 2) 特殊専用吹き付けシステムにより、1回の施工で厚膜塗装が可能。 3) 特殊専用吹き付けシステムにより、短時間施工が可能。 4) 防食性能の発現が早い。
用	途	1) 下水道防食用ライニング材 日本下水道事業団 「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル」 (平成14年12月) C種、D ₁ 種適合
配	合 比	主剤：硬化剤：促進剤 = 100：1～2.5：1.5 (重量比) 気温により、下表を参考にして硬化剤の種類、添加量を選定する。
荷	姿	主 剤：20kg 硬化剤：1kg または 5kg (ポリ容器) 春秋用(328E) 冬用(328EM)の2種類あり 促進剤：1kg または 5kg (ローヤル缶)
外	観 性 状	主 剤...グレー色ペースト状 硬化剤...無色透明液状 *1) 促進剤...紫色液状 混合物...グレー色ペースト状 *1) 硬化剤の色が黄褐色になる場合がありますが、性能に問題はありません。

乾 燥 時 間	温度 ()		5		10		15		20		25		30	
	硬化剤 春秋用(328E)添加量								20	15	15	10	15	10
	硬化剤 冬用(328EM)添加量	25	20	25	20	20	15	15						
	ゲルタイム (分)	70	100	40	50	30	55	30	45	60	35	60	15	20
	養生時間 (時間)	30	30	24	24	12	12	7	7	7	5	5	3	3

添加量：主剤 (NS-400) 1kg に対する g 数、促進剤 1.5g で固定

比	重	1.52 (硬化物)
標	準 塗 布 量	1.7kg/m ² (C種) 2.5kg/m ² (D ₁ 種)
貯	蔵 保 証 期 間	6か月 (冷暗所保管)
消	防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第5類 第2種 促進剤 危険物 第4類 第2石油類

使	用 方 法	1) 施工時の気温を考慮して硬化剤の添加量を決定する。 2) 専用吹き付け機械を用いてスプレー塗装を行う。 3) 手練りで施工する場合には、主剤と硬化剤を所定の配合比で均一に混合し、その後、促進剤を加え均一になるまで混合攪拌する。
---	-------	---

使	用 上 の 注 意	1) 汚れ、油等の付着した塗膜への塗装は避ける。 2) 原則として気温 5 以下、湿度 85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 3) 急激に反応するので、硬化剤と促進剤を直接接させてはいけません。 4) 直射日光下などの高温環境で保管すると、主剤がゲル化し使用不能になるので必ず冷暗所に保管すること。 5) 塗装時は換気を十分に行い、火気厳禁とする。
---	-----------	---

⚠ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。